



伊勢湾台風から50年

～ 矢作川の出水状況 ～

豊橋河川事務所

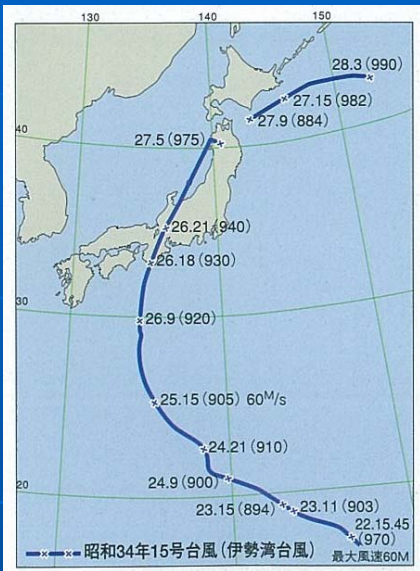
1959.10.22 浸水したままの家屋(碧南市前浜新田)

気象の概要

昭和34年9月21日マリアナの東で発生した台風15号は、26日18時に潮岬に上陸し、時間雨量40～70mmの激しい降雨を伴い北上した。

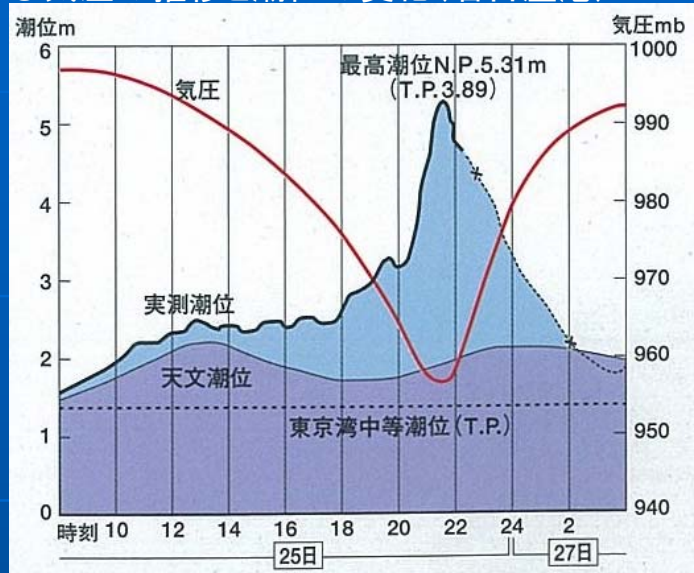
強風による吹き寄せと低気圧による吸い上げ効果によって起こった高潮は、名古屋港において、観測史上最高となるN.P.5.31m(名古屋港基準面)の潮位を記録した。

●台風経路図



※「自然に学び、自然に備える」((社)中部建設協会)より

●気圧の推移と潮位の変化(名古屋港)

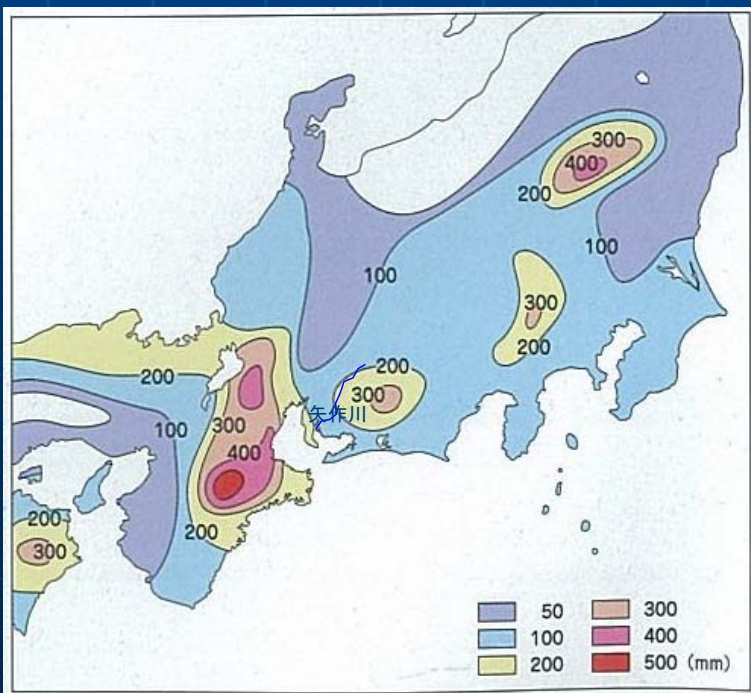


※「自然に学び、自然に備える」((社)中部建設協会)より

降雨・出水の概要

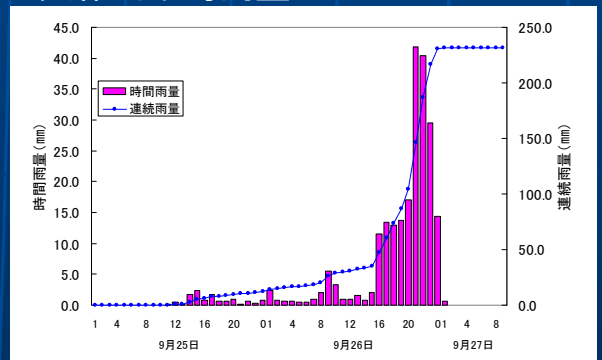
矢作川では、時間雨量40～70mmの激しい降雨となり、9月27日 5:00に米津地点で4.94mと計画高水位(5.36m)に迫る大洪水となった。

●総雨量分布図(9月23日～27日)

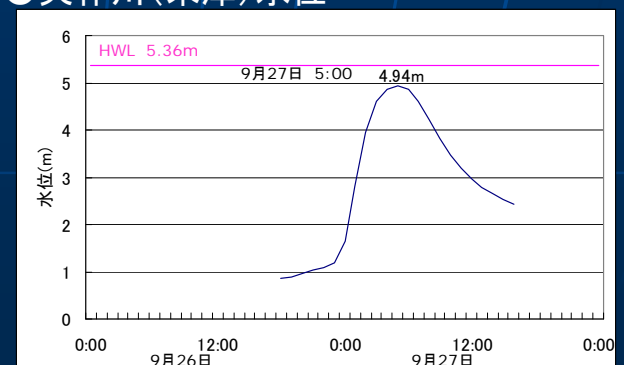


※「自然に学び、自然に備える」((社)中部建設協会)より

●矢作川平均雨量



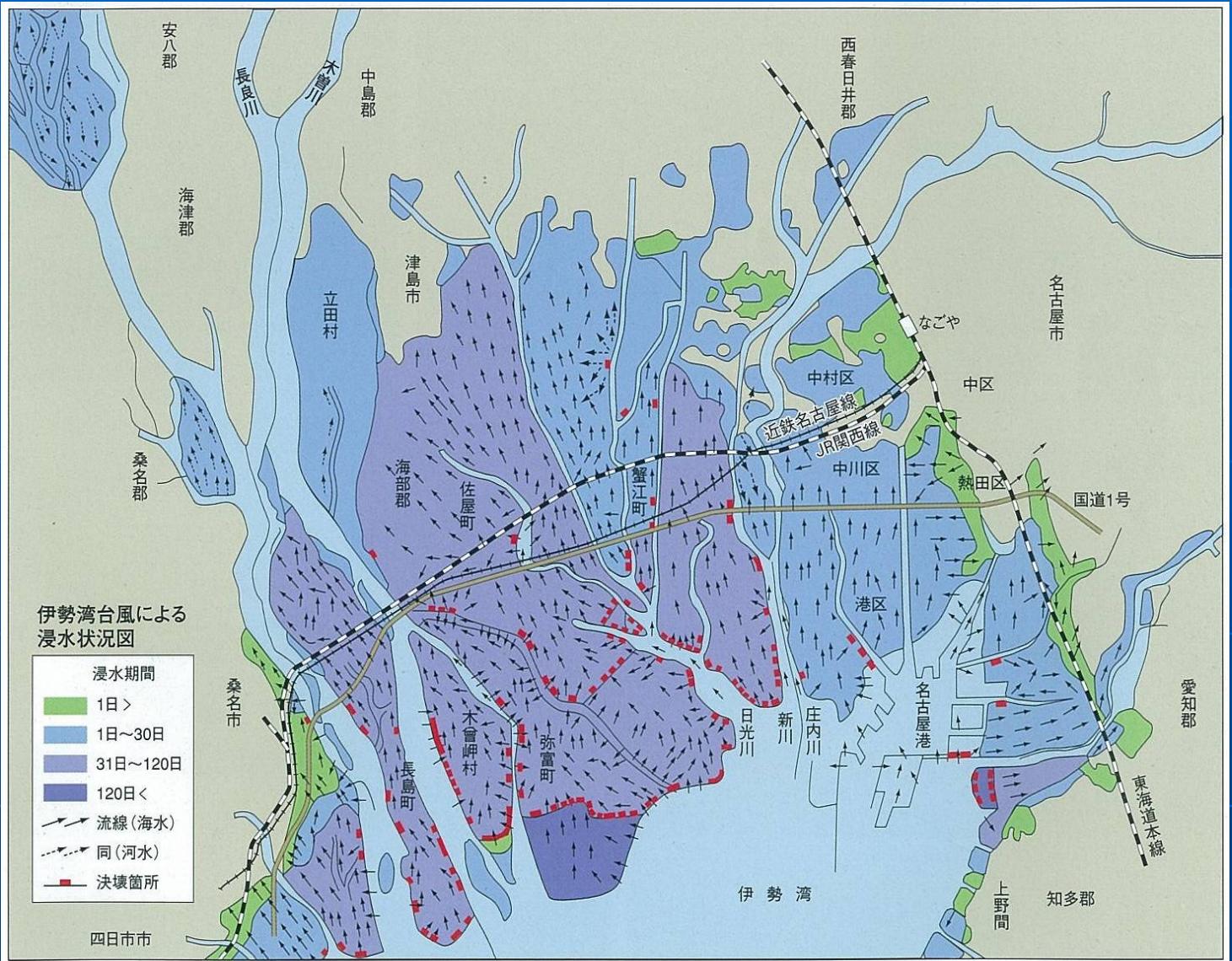
●矢作川(米津)水位



災害状況(東海三県)

海拔0メートル地帯では、台風後も長い間浸水状態が続いた。海部郡南部周辺では、決壊した堤防が修復され排水が完了するまで、120日間以上にわたり浸水状態が続き、浸水区域の被害を一層大きくした。

●伊勢湾台風による決壊箇所と浸水状況図



※「自然に学び、自然に備える」((社)中部建設協会)より

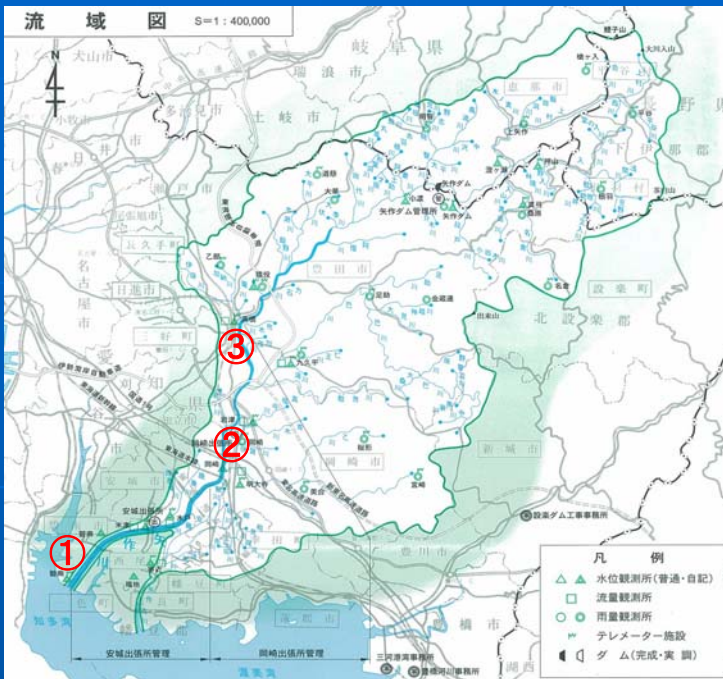
●東海三県被害状況

県名	死者 (人)	行方不明 (人)	負傷者 (人)	床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)	全壊流失 (戸)	半壊 (戸)
岐阜県	86	18	1,708	2,400	8,875	4,022	12,337
愛知県	3,168	92	59,045	53,560	62,831	26,528	97,049
三重県	1,233	48	5,688	30,852	31,803	6,745	16,704

※「自然に学び、自然に備える」((社)中部建設協会)より

災害状況(矢作川)

矢作川では、大洪水に暴風、高潮も重なり、河口部のいたるところで堤防が決壊し、西三河の死亡者163、負傷者5,297、行方不明3、家屋流失・全半壊27,000戸以上にのぼる大災害となった。



予想外にひどい台風被害

岡崎で死者20人

干拓地 五年の苦勞も水の泡

被災者はただぼう然

蒲郡の竹島橋も海中へ

人命被害も多数

三河各都市の被害状況

98市区町村に

県下の災害救助法発動

すでに15億円を越す

県下の米は四分の一も減収

※「中部の水害」より

国土交通省 中部地方整備局

豊橋河川事務所

〒441-8149 豊橋市中野町字平西1-6

TEL. 0532(48)8107 FAX. 0532(48)8100

http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/